

<主催事業活動報告 抜粋>

天王洲キャナルフェス 2023 春

・開催日：2023年4月21～23日(3日間) ・総来場者数：3日間累計 24,000人

天王洲キャナルフェス 2023 夏

・開催日：2023年7月28～30日(3日間) ・総来場者数：3日間累計 16,000人

天王洲キャナルフェス 2023 秋冬フェス

・開催日：2023年11月2～4日(3日間) ・総来場者数：3日間累計 20,500人

キャナルアートモーメント品川

・開催日：2023年11月3日 ・来場者数：3,600人

水辺の勉強会

・開催日：2023年2月27日 4月21日 6月15日 9月8日 10月17日 12月7日(隔月開催計6回実施)

分科会開催

観光分科会(月2回隔週開催)年間2回はDMO委員会として開催(6月、12月)

DMO申請状況進捗報告、各社観光事業情報共有、観光DX開発、観光ツアー醸成企画



天王洲キャナルフェス 2023 春

<観光 KPI 達成状況>

		2020 (R2) 年度		2021 (R3) 年度		2022 (R4) 年度		2023 (R5) 年度		2024 (R6) 年度		2025 (R7) 年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①-1 旅行消費額(総額)【千円】	全体	4,000,000	2,358,300	3,000,000	3,357,000	4,000,000	4,553,200	4,650,000	6,738,120	4,700,000		4,730,000	
	インバウンド	400,000	265,675	300,000	318,355	400,000	520,236	450,000	862,454	500,000		530,000	
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価)【円】	全体	6,000	4,384	6,000	5,640	6,000	5,548	6,000	5,375	6,000		6,000	
	インバウンド	4,000	3,639	4,000	4,811	4,000	4,068	4,200	4,873	4,200		5,200	
直近のKPI達成状況に対する分析		消費額、単価ともに上昇傾向。2023年度は予算を大きく超過。											
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	140	47	60	77	100	143	150	279	170		170	
	インバウンド	2	5	3	14	3	10	5	42	7		8	
直近のKPI達成状況に対する分析		宿泊の項目が全体の消費額やインバウンドをけん引。コロナ前の水準に回復した。											
③来訪者満足度 【%】	全体	90%	90%	90%	90%	90%	90%	92%	87%	92%		92%	
	インバウンド	92%	92%	92%	90%	92%	91%	93%	90	93%		93%	
直近のKPI達成状況に対する分析		全体母数が上昇したことで若干満足度が低下している。											
④リピーター率 【%】	全体	60%	65%	60%	63%	60%	54%	55%	55%	55%		55%	
	インバウンド	10%	10%	10%	10%	10%	9%	10%	10	10%		11%	
直近のKPI達成状況に対する分析		リピーター率に関しては低下傾向。相対的な新規来街者の増加と判断。											
⑤Webサイトのアクセス状況 【回】	全体	20,000	10,865	15,000	22,678	25,000	31,761	33,000	143,000	35,000		38,000	
	インバウンド	200	10	150	235	250	406	400	1,320	420		450	
直近のKPI達成状況に対する分析		コロナ以前の水準に回復傾向である。											

【調査方法】DMO委員会参加企業中心に聞き取り調査を実施集計

<分析結果>

2020年のコロナウィルスまん延における様々な影響から状況の改善、反動の兆しがみられる。特に宿泊数は大きな改善が見られた。

自主開催イベントやその他各社の観光事業における動員数も天候不順の影響があったものの2022年度を上回る実績を残すことが出来た。

インバウンドの来訪も絶対数として増加傾向となってきているが、インバウンド比率に関しては宿泊区以外の項目では大きな変化はみられておらず、インバウンド需要の取り込みに関して課題が残る。

<天王洲観光における2024年活動計画>

天王洲・チャンネルサイド活性化協会はさらなる観光地としての天王洲の発展へ向けて、下記観光施策の実施を進めていくものとする。

① 旅行業の申請（2024年度実績も一部記載）

第3種旅行業の登録申請。今後の様々な自主観光メニュー醸成に向けて、今年度中の登録を目指す。
→登録完了。2024年1月11日 登録番号：東京都知事登録旅行業 第3-8499号

② DMOの申請と登録（2024年度実績も一部記載）

地元自治体（品川区）の推薦、共同申請2024年1月12日。2024年3月29日登録受理。登録番号：第30179号

③ 自主観光ツアーの企画

本件は観光分科会で計画を遂行するものとし、分科会メンバー（パナソニックグループ、JTB、日本航空、寺田倉庫 ※敬称略、順不同）を中心に進める。2024年度のツアー造成、販売に向けて計画を進める。
→2024年4月からJTBBOKUNを導入し販売開始。アートツアー、ヨガワークショップ等

④ 観光DXの推進（2024年度実績も一部記載）

域内の観光案内機能として、パナソニック「アテンドステーション」の導入に関して2024年度の設置導入に向けて、更に実証を継続し、カスタマイズ化を進める。

導入することで、天王洲アイル駅や商業施設利用者に対し、日・英・中の多言語対応での域内施設情報やアートツアーの集客機能として、地域の観光消費の拡大と効率的な案内所機能の運営を目指す。

クルーズを活用した観光DXの実証検証も開始する。

→2024年1月よりモノレール天王洲アイル駅中央改札前、寺田倉庫WHATCAFE内に設置し、運用開始。

⑤ DMO団体としての活動（2024年度実績も一部記載）

観光庁及び地域所轄官庁の関東運輸局をはじめとする研修会やフォーラムへの参加
各種助成、実証、支援事業などへの応募、参画。

観光庁「全国の観光地・観光産業における観光DX推進に関するマーケティング強化モデル実証事業」採択

関東運輸局「令和6年度 関東運輸局によるDMOの伴走支援事業」採択

観光DX分科会開催における情報共有と検討事案検討、推進。（品川区、しながわ観光協会、パナソニック、JTB、日本航空、寺田倉庫 参加）

本年度もご協力賜りありがとうございました。来年度以降も各社データ提供や活動に対するご支援お願い申し上げます。



DMO 全国会議



DMO 関東フォーラム

以上